

「日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定」(平成 15 年 7 月締結)

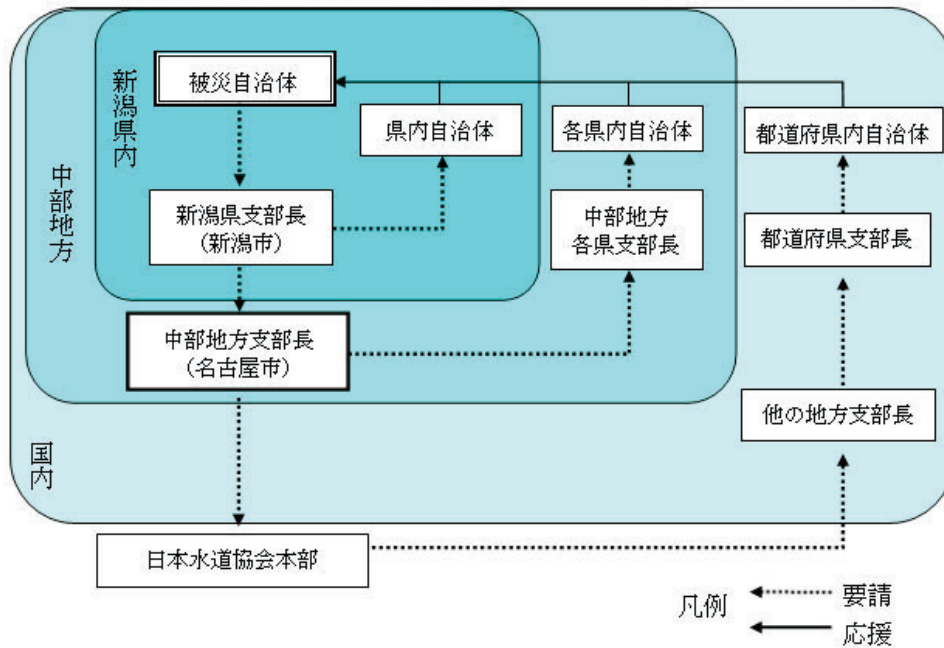


図 3.3 中部地方支部の災害時応援・連絡体制

### 3.2.3 新潟県支部による支援内容

#### (1) 新潟県支部としての初動活動

- ・「新潟市水道局震災対策計画」に基づき、地震発生直後から職員が参集し（229名，58.4%），新潟市内の水道施設の被害状況調査を行い，被害がないことを確認後，県内水道事業者の被害状況調査を開始した。
- ・新潟市水道局内に「日本水道協会新潟県支部災害対策本部」を設置し，地震情報の一元管理及び日本水道協会中部地方支部等の外部機関との連絡調整を行った。
- ・可能な限り被災事業者の情報収集に努め，かつ，被災事業者からの応急給水要請を想定し応急給水活動の準備を開始した。
- ・柏崎市をはじめとする被災事業者から応急給水の要請を受け，新潟県支部内水道事業者及び中部地方支部へ応援要請を行った。
- ・水道施設の被害が著しい柏崎市・刈羽村に現地調査隊を派遣し，被害状況の把握を行った。併せて，運搬給水の効率化を図るためキャンバス水槽設置隊を派遣した（柏崎市：20基，刈羽村5基）。
- ・柏崎市ガス水道局内に，「現地対策本部」を設置。

#### (2) 柏崎市への支援

##### ① 応急給水活動

- ・新潟県支部及び中部地方支部との連絡調整を行い，応急給水に必要な

十分な給水車の確保に努めた。

- ・7月18日（水）よりキャンパス水槽を20基増設し、給水拠点機能を高めることにより、応急給水体制を暫時縮小した。
- ・新潟県支部として、22事業体により、7月16日（月）から31日（火）までの16日間にわたり応急給水活動を行った。

## ② 応急復旧活動

- ・管路応急復旧については、柏崎市からの要請により新潟市が総合調整を行った。
- ・「新潟県中越沖地震水道災害復旧対策会議（7月18日（水）開催）」の復旧方針で示されたブロック単位で、新潟県支部、中部地方支部、及び関東地方支部が連携し復旧作業を行った。
- ・現地対策本部の復旧計画に対応するため、漏水調査・管路復旧活動の連絡調整を行い、必要な人員の確保に努めた。
- ・新潟県支部として、19事業体により、7月17日（火）から8月4日（土）までの19日間にわたり、漏水調査・管路復旧作業を行った。

### 3.2.4 関東地方支部による支援内容

#### (1) 関東地方支部における支援の動き

地震が発生した7月16日（月）の午後、日本水道協会本部から、関東地方支部長都市である横浜市へ、対策本部を設置した旨の第1報が入った。中部地方支部長都市である名古屋市が直ちに現地へ調査隊を派遣し、支援活動が開始された。

東京都、横浜市等の各事業体も、翌7月17日（火）には独自に支援活動を開始、給水車を派遣するとともに、飲料水、食料、簡易トイレ等の輸送を行い始めた。被災地では、新潟県支部を中心に、中部地方支部の応急給水が行われ、関東地方支部においても、各都県支部に対し、復旧活動等の要請があればいつでも出動ができる体制を整えるよう依頼した。

応援要請を待っている中、7月18日（水）に日本水道協会本部から、新潟県中越沖地震水道災害復旧対策会議の応援要請が関東地方支部に伝達された。

関東地方支部からは、第一次隊として、さいたま市水道局、東京都水道局、横浜市水道局の計3隊、第二次隊として、前橋市水道局、千葉県水道局、甲府市上下水道局・南アルプス市企業局合同隊、さいたま市水道局二次隊、東京都水道局二次隊、横浜市水道局二次隊の計6隊、第三次隊として、日立市上下水道局、宇都宮市上下水道局、高崎市水道局・館林市環境水道部合同隊、千葉県水道局・八千代市上下水道局合同隊、川崎市水道局、

神奈川県企業庁，さいたま市水道局三次隊，東京都水道局三次隊，横浜市水道局三次隊の計 9 隊を派遣した。その後，現活動隊の派遣延長とともに，足利市上下水道局，川口市水道局・越谷・松伏水道企業団合同隊，甲府市上下水道局・笛吹市公営企業部合同隊の 3 隊が参加した。以上，7 月 31 日（火）まで 13 日間にわたり，水道災害が甚大であった柏崎市の中心地区において，関東地方支部各事業体の支援活動が展開され，復旧に大きく貢献した。

また，現地では，横浜市水道局の応援部隊の隊長が，柏崎市ガス水道局の職員らとともに各都市からの応援部隊を統括し，応急給水や応急復旧活動を円滑に進めた。

## （2）関東地方支部の応援状況

関東地方支部の復旧応援状況は表 3.11 の通りである。

また，関東地方支部内の事業体による独自の支援への取り組みについて表 3.12 に示す。

表 3.11 関東地方支部による復旧応援状況

		7月19日		7月20日		7月23日		7月26日		7月27日		備 考		
		調査班	修繕班	調査班	修繕班	調査班	修繕班	調査班	修繕班	調査班	修繕班			
一次隊	さいたま市水道局一次隊	班編成	1	1				→	-	-	-	-	26日撤退	
		人数	5	6						-	-	-		-
	東京都水道局一次隊	班編成	1	1					→	-	-	-	-	26日撤退。
		人数	6	6						-	-	-	-	
	横浜市水道局一次隊	班編成	1	1					→	-	-	-	-	26日撤退。
		人数	7	5						-	-	-	-	
二次隊	さいたま市水道局二次隊	班編成	-	-	1	1			→	-	-	-	-	26日撤退
		人数	-	-	5	6				-	-	-	-	
	東京都水道局二次隊	班編成	-	-	1	1			→	-	-	-	-	26日撤退。
		人数	-	-	4	6				-	-	-	-	
	横浜市水道局二次隊	班編成	-	-	1	1			→	-	-	-	-	26日撤退。
		人数	-	-	5	7				-	-	-	-	
	千葉県水道局	班編成	-	-	1	1			→	-	-	-	-	26日撤退
		人数	-	-	7	7				-	-	-	-	
	前橋市水道局	班編成	-	-	1	1								31日まで残る。
		人数	-	-	4	7								
	山梨県支部（甲府市水道局・南アルプス市企業局）	班編成	-	-	1	1	1	2	-	-	-	-	-	26日撤退
		人数	-	-	9	5	3	4	-	-	-	-	-	
三次隊及び派遣延長	さいたま市水道局三次隊	班編成	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	26日撤退	
		人数	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-		
	埼玉県支部（川口市水道局・越谷・松伏水道企業団）	班編成	-	-	-	-	-	-	1	1			26日より川口市・越谷・松伏水道企業団が派遣。	
		人数	-	-	-	-	-	-	5	9				
	東京都水道局三次隊	班編成	-	-	-	-	1	2					31日まで残る。	
		人数	-	-	-	-	4	7						
		班編成	-	-	-	-	-	-	1	1			26日に東京都派遣分から増派。	
		人数	-	-	-	-	-	-	4	11				
	横浜市水道局三次隊	班編成	-	-	-	-	1	2					31日まで残る。	
		人数	-	-	-	-	4	7						
		班編成	-	-	-	-	-	-	1	1			26日から増派。	
		人数	-	-	-	-	-	-	5	7				
	川崎市水道局	班編成	-	-	-	-	1	2			→	-	-	27日撤退
		人数	-	-	-	-	2	12				-	-	
		班編成	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	27日から新規派遣。	
		人数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12		
	神奈川県企業庁	班編成	-	-	-	-	1	2			→	-	-	27日撤退
		人数	-	-	-	-	6	10				-	-	
		班編成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8			
千葉県支部（千葉県水道局・八千代市上下水道局）	班編成	-	-	-	-	1	2	1	1			千葉県の支援業者が残り、後は25日撤退。26日より千葉県より7名調査班を派遣。		
	人数	-	-	-	-	4	9	7	7					
群馬県支部（高崎市水道局・館林市環境水道部）	班編成	-	-	-	-	1	2					高崎市は28日まで既存の隊が残る。館林市は27日まで既存の隊が残る。		
	人数	-	-	-	-	2	5							
宇都宮市上下水道局	班編成	-	-	-	-	1	1					27日までは、既存の隊が残る。28日から新規に足利市から派遣。		
	人数	-	-	-	-	5	5							
日立市上下水道部	班編成	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	26日撤退		
	人数	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-			
	班編成	-	-	-	-	-	-	-	1				26日から新規派遣。	
人数	-	-	-	-	-	-	-	7						
山梨県支部（甲府市水道局・甲斐市水道局・笛吹市公営企業部）	班編成	-	-	-	-	-	-	1	1			26日から新規に隊を派遣。		
	人数	-	-	-	-	-	-	4	5					